

# ボランティア活動報告

写真：谷川毅（ボランティア）

文：岡野香子（スタッフ）

## ～ イベントスタッフ ～

### 11/23 わら草履作り



マガンのエサ場でもある田んぼ。お米を収穫した後は稲わらが残ります。ゴム製品がまだ高価だった時代、田んぼから出る稲わらで、布団や靴、米俵を作っていたのはご存知ですか？

米処・美唄のおばあちゃん達に先生役をお願いし、ふゆみずたんぼin宮島沼の稲わらで、わら草履作りにチャレンジしました。おばあちゃん達は宮島沼周辺の地域の皆さん。わら草履作りだけでなく、マガンの話や田んぼの話、子供の頃の話など、いろいろなことを教えてくれました。ささ川さん、芳ちゃん、たみちゃん、ありがとうございました！！

### 12/12 しめ縄作り



わら草履にひきつづき、今度はおじいちゃん達に先生をお願いし、しめ縄作りを行いました。去年からはじめた企画ですが、「毎年同じではダメなんじゃよ」とすっかりおじいちゃん達に頼りきりです。まるで売り物のような作品が出来上がり、参加者の皆さん、大満足でした。マガンと関係の深い稲わらで、地域の人とワイワイおしゃべりしながらの手作業は、本当に楽しいひとときです。マガンがキーワードになって人の輪が広がっていくんだな～ととても嬉しくなりました。白木さん、大山さん、田中さん、奥山さん、羽広さん、毎年ありがとうございます。またよろしく願いいたします！！

### 12/20 湿地の恵みで交流会



交流ばかりの冬です。12月末には毎年「我こそは宮島沼関係者」という皆様が集い、お餅つきを行います。参加者とボランティアという分けはなく、皆で盛り上がったイベントでした！！

## 1/8 沖縄の子供たちをガイド



美唄市の事業で、沖縄県名護市から子供達が冬の北海道にやってきました。見学コースの中に、宮島沼が含まれおり、簡単なレクチャーを、と依頼されたのですが。「子供達が来る？そうだ！」

ここには、宮島沼をフィールドに活躍しているマガレンジャーがいるではありませんか！近頃、自主性が出来てきたマガレンジャー隊員たち。原稿を自分たちで作成し、宮島沼のこと、マガンのこと、宮島沼での課題など、しっかりした内容の発表をしてくれました。初めての「ガイド」。事前練習もしつかりやり、頑張ってくれました。

### いろいろ・・・



秋のトラロープ撤去&マナー啓発看板撤去に駆けつけてくれた松田さん、もつくん、土屋さん、尾田さん。

実物展示作成に来てくれた小林めぐちん。

論文打ち合わせの後の、ちょっとした時間を利用して展示作成や来館者対応をしてくれる舞子ちゃん、熊ちゃん。イベントの時には欠かさず顔を出してイベントの写真を撮ってくれたり、たまの休みにふらっと顔を出して来館者に丁寧な解説をしてくれたり、ブログに使って～と生き物の写真を撮ってくれたりする谷川さん。

ここぞつと言うときに現れて、冬囲いや除雪など、手の回らないところを片付けてくださる土屋さん。

一日一善とトイレ掃除をしてくれた伸子さん。

米麴作りを教えてくれたり、味噌作りの先生に来てくれたり。私の味噌作り師匠・八重子さん。

ボランティアの皆様には、いつもとっても感謝している毎日なのでした～。

### ・・・閑話・・・

○そして再び渡り鳥シーズンへ

センターがオープンして早くも3年目が過ぎようとしています。あっという間の3年間。でも、まだまだこれからの宮島沼。ふゆみずたんぼも広がり、お客さんのマナーも”進化”と言っていいほど劇的に変わってきています。ボランティアの皆も変化に負けず、さらにさらにパワーアップ出来たらと思うこの頃です。(谷川毅)